

平成20年度「消費生活展」共催参加報告

1. 「消費生活展」の概要

本年度も宮城県消費生活センター、宮城県金融広報委員会及びN I T Eの三機関共催で「消費生活展」を実施したが、今年のテーマは『「安心・安全な暮らしのために」～身近なことから暮らしをみつめる～』で、昨今さらに被害を増している架空請求や振り込め詐欺への防止と、家庭で使用している製品・食品の安全を考えるという内容で4日間の展示と3日間の講座が1つになったイベントが開催された。今年は特に振り込め詐欺の被害や食の安全で例年以上に問題が出てきており、そのような被害に遭わないため、各分野の専門家に講演とビデオ放映、パネル展示やパンフレットの配布を行った。

(1) 消費者展開催日時：2008年10月21日（火）～24日（金） 10:00～18:00

なお、最終日は16:00まで

当機構展示場来場者数：約1,800人（全体総来場者数：約2,000人）

主催者：宮城県消費生活センター・宮城県金融広報委員会・N I T E東北支所

会場：東北電力グリーンプラザ アカホール（仙台市青葉区一番町3-7-1 電力ビル1階）

2. N I T E広報活動

(1) 出展ゾーン及び展示内容

展示場所は会場の入り口付近の見やすい場所に、N I T Eがこれまで収集してきた事故品の中で最近話題の事故品や長期使用による事故品を中心に展示（6品目）し、その内容を紹介したパネル（A0版）を6枚展示した。また、誤使用ハンドブック等の配布及びアンケートを実施した。

- ・配布資料：N I T Eきっかけパンフ、製品安全パンフ、誤使用ハンドブック（旧）、誤使用ハンドブック（新）、パネルの縮小版（数種）

(2) 来訪者について

(a) 来訪者

来訪者には、N I T E職員が一人一人に丁寧かつ分かり易くN I T Eの事故情報収集業務と展示事故品の原因等の説明を行った。

N I T Eブース等の風景を以下に示す。

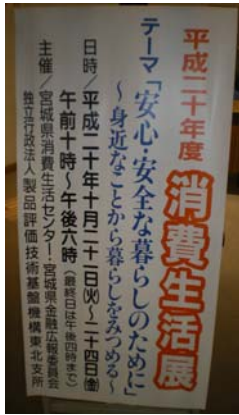


写真1 案内看板



写真2 職員の説明風景



写真3 N I T Eブース風景

3. まとめ

当消費者展は毎年行われており、今年は『「安心・安全な暮らしのために」～身近なことから暮らしをみつめる～』と題して、振り込め詐欺、契約関係、ネットトラブル、製品及び食品事故について4日間に亘って講演会、パンフの配布及びパネル展示を行った。講演会は、テーマに合わせて専門の講師を呼び、参加申し込み者だけでなく、一般消費者が自由に聞けるような場所でオープン講座として聞けるようにしていた。特に、昨今のニュースで報道されているため、食品の話には多くの聴衆者が講演に耳を傾けていた。

展示にあたり、今年は話題となった樹脂製サンダルのエスカレータ巻き込み事故や来年の法改正に繋がった長期使用製品の事故品（扇風機）や電気ストーブ等身近な話題を考慮してN I T Eスクエアに展示されている事故品を展示し、来訪者に事故調査の趣旨や展示品の説明等を行った。N I T Eの説明に対して、その存在や事故情報収集制度を知らなかった来訪者がまだまだ多かったが、事故品への感心は高く、かなりの反響が得られた。参加者の意見としては「展示品と説明を聞いて、身近な製品での事故について改めて注意したい。」との声が多く、今回の参加によりN I T E及び事故調査への期待がさらに高まったものと思われる。

以 上